

南極観測隊経験者にインタビュー



本吉洋一さん

参加した観測隊

- ・夏 隊：第23次・24次・40次・46次・51次・58次
- ・越冬隊：第33次・42次
- ・オーストラリア隊（1987 - 88年）

プロフィール

千葉県生まれ。
北海道大学大学院修了。
専門は地質学。

南極観測隊に参加したきっかけは？南極ではどんなおしごとをしたのですか？

山歩きが好きだったので、あまり人が行ったことがない場所、とりわけ極地に興味がありました。南極では岩ばんの地質を調べました。南極は氷におおわれた場所ですが、その下には広大な大陸の岩ばんが広がっており、海岸線や内陸の山地にはわずかながら岩石が顔を出しています。どんな岩石や鉱物がどこにあってどういった分布をしているのか、一カ所一カ所ていねいに調べて記録します。ちょっと変わった石があれば、サンプルとして日本に持ち帰ってさらに詳しく調べます。そうすると、これらの石がたどった歴史が見えてきます。何の変てつもないように見える石は、実は地球に起った様々な変動を記録したタイムカプセルなのです。その石にいかにか多くを語らせるか、地質学者の腕の見せ所です。



南極で印象に残ったことはなんですか？

厳しい南極の自然と向き合って、きっちり自分の仕事をこなす観測隊員には常に尊敬の気持ちを忘れたことはありません。南極での仕事にはチームワークも欠かせません。みんなが協力し合って一つのプロジェクトを成功に導いた時は、とても大きな満足感と達成感を味わうことができます。周到な準備をして南極に出向き、現地で思う存分に仕事をして無事に日本に帰る…南極観測の理想型です。でも一方で計画が上手く行かずに残念な結果に終わったこともあります。それでも最後まで決してあきらめずに自分の仕事に向き合う仲間の姿が一番印象に残っています。



子どもたちへのメッセージをおねがいします！

南極という場所は、地球や宇宙をのぞく窓の役目をはたしています。わたしたちが住む地球という星やそれを取りまく宇宙の姿を探ってみませんか。楽しいですよ！